

「このまちが好きだから みんなで創ろう 元気まち上土幌」をめざして

～第5期上土幌町総合計画基本計画改訂にあたって～

上土幌町は、日本最大の国立公園である大雪山国立公園の東山麓に位置する豊かな自然に育まれたまちであり、昭和6年に土幌村から分村し、平成23年には開町80周年を迎えました。

同年の3月11日に発生した東日本大震災は、未曾有の大災害をもたらし、国民に大きな衝撃と不安を与えました。また、本町においても平成28年の大きな台風災害を経験し、あらためて日ごろからの防災意識と、災害発生時の対応の重要性を再認識したところです。

こうした中、今日の社会情勢は、人口減少の時代に入り少子化・高齢化の進行、地球規模での環境問題、高度情報化の進展、地方分権時代での地域の自主性・自立性が求められるなど、多種多様な社会変化への対応が必要になってきております。

このような時代の変化の中、新しい本町のまちづくりの指針として、平成24年度から平成33年度までを期間とする「第5期上土幌町総合計画」が策定されましたが、策定から5年が経過した今日、社会情勢の変化は一層加速し、わたしたちを取り巻く環境も更に大きく変化しています。

本町においては、全国的に過疎市町村において人口減少が加速化する中、地方創生総合戦略に掲げた取り組みを積極的に展開することにより、平成27年から平成28年にかけて人口が31人増加するという大きな成果となって表れてきています。

こうした気運を大切にしながら、上土幌町の風土・ひとのすばらしさを町外の人たちに発信していけるよう、生涯活躍のまちや道の駅構想等を重点的に推進すべく、基本計画の見直しを行いました。その中で、本計画の将来像である「このまちが好きだから みんなで創ろう 元気まち上土幌」の実現に向けて、町民のみならずとも、誰からも好かれるまちづくりを継続して目指すものとしたします。

本町が持っている豊かな地域資源と自然環境を活かし、地域産業の活力を生み出し、誰もが健康で安心していつまでも住み続けたいと思える「5,000人のまちづくり」の実現に向け、町民のみならずとも協働による“元気まち”を目指してまいります。

最後に第5期総合計画の中期見直しにあたりまして、町民の皆様より貴重なご意見・ご提案をいただき、また町議会におきましては熱心なご審議を賜りましたことに、心よりお礼申し上げます。

平成29年3月

上土幌町長 竹中 貢

